

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	障害者就労センター くんわ技研
住 所	阿蘇市黒川396番地
電話番号	0967-34-2222

事業所番号	4312800099
管理者名	岩本 千鶴
対象年度	令和元年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		70 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		
①前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		20 点
②前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満	○	
④前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満	○	
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(III) 多様な働き方（※）		
◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		25 点
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計（注1）		7 点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(IV) 支援力向上（※）		
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上であった	○	
参加した職員が半数以上であった		
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		
どちらか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計（注2）		3 点

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している		0 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	70
生産活動	5点		20点		25点		40点		20
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		25
支援力向上	0点		15点		25点		35点		15
地域連携活動	0点				10点				0

合計	
130	点 / 200点

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和元年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	27,786	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,619	人	利用者の1日の平均労働時間数	6	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

前々年度（平成30年度）

生産活動収入から経費を除いた額	22,044,199	円	利用者に支払った賃金総額	25,609,389	円	収支	▲ 3,565,190	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

前年度（令和元年度）

生産活動収入から経費を除いた額	17,794,053	円	利用者に支払った賃金総額	21,691,798	円	収支	▲ 3,897,745	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度を活用した人数	1名
※取得を進めた免許等	社会福祉主事資格 サービス管理責任者
制度の活用内容	福祉制度を理解し、 支援業務に活かしながら キャリアアップを図る

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数	●名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input type="checkbox"/>
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>
※登用した日	●年 ●月 ●日
勤務形態	○○○
就業時間	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数	●名
※実施した期間	●月●日～●月●日
就業時間（在宅勤務）	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数	●名
※実施した期間	●月●日～●月●日
就業時間（コアタイム）	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数	●名
※実施した期間	●月●日～●月●日
就業時間（短時間）	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数	●名
※実施した期間	●月●日～●月●日
就業時間（早出の場合）	●時●分～●時●分
就業時間（遅出の場合）	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数	●名
◎計画的付与制度を活用した人数	13名
※取得した制度	有給休暇の時間単位取得 <input type="checkbox"/> 計画的付与制度 <input checked="" type="checkbox"/>
取得した期間	10月1日～12月31日
取得日数	3.5日

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数	●名
※取得した内容	○○○
取得した期間	●月●日～●月●日
就業時間	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎研修実施回数	外部 7回/内部 2回
対象職員数	7人
うち研修受講者数	6人
※研修名	人事制度研修
研修講師	上田吉勝氏
実施日・受講者数	5月24日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	●回
※研修、学会等名	○○○
実施日	●月●日
※学会誌等名	○○○
掲載日	●月●日
発表テーマ	○○○

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	<input type="checkbox"/>
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input type="checkbox"/>
※先進的事業者名	○○○
実施日/参加者数	●月●日 ●人
※他の事業所名	○○○
実施日/参加者数	●月●日 ●人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数	●回
※商談会等名	○○○
主催者名	○○○
日時	●月●日
内容	○○○

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	H24年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数	7名
うち昇給・昇格を行った者	7名
当該人事評価制度の周知方法	就業規則配布・職員会議での説明

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	●月●日～●月●日
就業時間	○○○
職務内容	○○○

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	●月●日
第三者評価機関	○○○

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	●月●日
規格等の内容	○○○

(※)実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ウィルアークス
住 所	熊本県阿蘇郡産山村大利657番地5
電話番号	0967-25-2330

事業所番号	4311320024
管理者名	家入 幸成
対象年度	令和4年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		55
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(Ⅱ) 生産活動

①前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		25
②前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上	○	
③前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		
④前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）

◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計（注1）		5
点		点

（※）任意の5項目を選択すること

（注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
参加した職員が1人以上であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○
どちらか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている		
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ⑤職員の人事評価制度		○
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する 制度を設け、全ての職員に周知している		
◎ ⑥ピアサポーターの配置		○
ピアサポーターを職員として配置している		
◎ ⑦第三者評価		○
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を 受審しており、結果を公表している。		
◎ ⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等		○
都道府県知事が適当と認めるISOが定めた 規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計（注2）		6
点		点

（※）任意の5項目を選択すること

（注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等 での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をイン ターネット等により公表している	○	10
		点
		1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	55
生産活動	5点		20点		25点		40点		25
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		15
支援力向上	0点		15点		25点		35点		25
地域連携活動	0点				10点				10

合計

130

点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（3年度）

Table with 4 columns: 雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間 (20,801時間), 雇用契約を締結していた延べ利用者数 (3,663人), 利用者の1日の平均労働時間数 (6時間)

(Ⅱ) 生産活動

前々年度（2年度）

Table with 4 columns: 生産活動収入から経費を除いた額 (15,576,776円), 利用者に支払った賃金総額 (17,238,320円), 収支 (▲1,661,544円)

前年度（3年度）

Table with 4 columns: 生産活動収入から経費を除いた額 (18,481,267円), 利用者に支払った賃金総額 (17,899,483円), 収支 (581,784円)

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（●年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度

Form for license/qualification system: 1 person benefited, 普通自動車免許, 制度の活用内容: 自動車学校への送迎・有給休暇の取得・労働時間の融通を行った

② 利用者を職員として登用する制度

Form for staff hiring: 0 people hired, うち1名は雇用継続期間が6月に達している, うち1名は前年度末日まで雇用継続している, 勤務形態: 〇〇〇, 就業時間: ●時●分～●時●分, 職務内容: 〇〇〇

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

Form for telework: 0 people, 実施した期間: ●月●日～●月●日, 就業時間(在宅勤務): ●時●分～●時●分, 職務内容: 〇〇〇

④ フレックスタイム制に係る労働条件

Form for flexitime: 0 people, 実施した期間: ●月●日～●月●日, 就業時間(コアタイム): ●時●分～●時●分, 職務内容: 〇〇〇

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

Form for short-time work: 0 people, 実施した期間: ●月●日～●月●日, 就業時間(短時間): ●時●分～●時●分, 職務内容: 〇〇〇

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

Form for staggered start: 0 people, 実施した期間: ●月●日～●月●日, 就業時間(早出の場合): ●時●分～●時●分, 就業時間(遅出の場合): ●時●分～●時●分, 職務内容: 〇〇〇

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

Form for paid leave: 0 people for time unit, 11 people for planned grant, 取得した制度: 有給休暇の時間単位取得, 計画的付与制度, 取得した期間: 4月1日～3月31日, 取得日数: 64日

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

Form for sick leave: 0 people, 取得した内容: , 取得した期間: , 就業時間: , 職務内容:

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（R3年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

Form for training: 研修計画を策定している, 研修実施1回数: 外部1回/内部回, 対象職員数: 2人, うち研修受講者数: 2人, 研修名: 食品衛生管理責任者, 研修講師: eラーニング, 実施日・受講者数: 1月 日 2人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

Form for publication: 0 people, 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数: ●回, 研修、学会等名: 〇〇〇, 実施日: ●月●日, 学会誌等名: 〇〇〇, 掲載日: ●月●日, 発表テーマ: 〇〇〇

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

Form for observation: 先進的事業者の視察・実習の実施している, 他の事業所の視察・実習を受け入れている, 先進的事業者名: 〇〇〇, 実施日/参加者数: ●月●日 ●人, 他の事業所名: 〇〇〇, 実施日/参加者数: ●月●日 ●人

④ 販路拡大の商談会等への参加

Form for trade expansion: 3 times, 商談会等名: 第3回ほっとはあーとマーケット, 熊本ファーマーズマーケット, 令和3年度障がい者福祉施設商品等展示・商談会, 主催者名: 熊本県セルブセンター・熊本県, 日時: R3.11.12・R3.11.20・R3.12.2, 内容: 販売会, *インターワーク(B型)と共同参加

⑤ 職員の人事評価制度

Form for staff evaluation: 0 people, 職員の人事評価制度を整備している, 当該人事評価制度を周知している, 人事評価制度の制定日: H24年 4月 1日, 人事評価制度の対象職員数: 4名, うち昇給・昇格を行った者: 4名, 当該人事評価制度の周知方法: 就業規則の配布と説明

⑥ ピアサポーターの配置

Form for peer support: 0 people, ピアサポーターを配置している, 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している, 配置期間: ●月●日～●月●日, 就業時間: , 職務内容: 〇〇〇

⑦ 第三者評価

Form for third-party evaluation: 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている, 評価を受けた日: ●月●日, 第三者評価機関: 〇〇〇

⑧ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等

Form for ISO certification: 0 people, ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている, 認証を受けた日: ●月●日, 規格等の内容: 〇〇〇

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ウィルアークス	事業所番号	4311320024
住所	熊本県阿蘇郡産山村大利657番地5	管理者名	家入 幸成
電話番号	0967-25-2330	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<活動内容>	<活動の様子>
<p>かつどうばしょ <活動場所> あそしやくいんぼるのうち 阿蘇市役犬原の農地</p> <p>じっしにってい <実施日程> がつ しゅうかく がつ どじょうせんじょう ひりょう はた 6月末～11月始め収穫 1月：土壌洗浄 2月：肥料やり・畑 じゅんび がつ なえう の準備 4月：苗植え</p> <p>じっし せいさんかつどう しせつがいしゅうろう がいよう <実施した生産活動・施設外就労の概要> のうか かいさま きょうどう せいさん かこうしょくひんかいはつ・ほんばい 農家（甲斐様）と共同でトマトの生産と加工食品開発・販売 の こうそ (オリジナル飲む酵素・ドレッシング)</p> <p>りょうしゃすうなど <利用者数等> の にんずう *延べ人数 1月（3名）、2月（3名）、4月（5名） 6月（6名）、7月（6名）、8月（6名）、9月（6名）、10月 (6名)、11月（6名）</p>	<p><活動の様子の写真></p>  
<p>ちいきれんけいかつどう <地域連携活動のねらい> ちいきねざ しせつ ちいき とくさんひん かいはつ 地域根差した施設づくり、地域の特産品の開発</p> <p>ちいき <地域にとってのメリット> のうか ひと ふそく かいしょう のうさんぶつ ほんばいこうじょう 農家さんの人で不足の解消、農産物の販売向上</p>	
<p align="center"><成果></p>	
<p>じっし けっか <実施した結果> いぜん せいさんりょう ぞうか 以前よりトマトの生産量が増加した。</p> <p>え せいか <得られた成果> かこう の こうそ トマトを加工した「飲む酵素トマト」・「トマトドレッシン しょうひんかいはつ ほんばい グ」の商品開発・販売ができた。</p> <p>かだいてん <課題点> こんご せいさんりょう ほんばいりょう よそく 今後の生産量と販売量の予測</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>れんけい けっか たい いけん ひょうか <連携した結果に対する意見または評価> なえう ひりょう はたけ じゅんび ひとで さぎょう たす つか みち ふ たす ・苗植え、肥料やりや畑の準備などの人手がかかる作業をやってもらい助かった。トマトの使い道も増えて助かった。</p> <p>こんごのれんけいきょうかにむけたかだい <今後の連携強化に向けた課題> きょうりょく たが はな こんごはんろかくだい ばあい ・もっと協力してできることはないか、お互い話しながらやっていきたい。今後販路拡大した場合に生産体制が間に合うのか、 けんとう 検討していく。</p>			
連携先企業名	甲斐隆憲	担当者名	甲斐